

1. 件 名：ERSSの伝送項目追加について

2. 日 時：令和2年7月30日 17:10～18:40

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁

緊急事案対策室 村田副室長、児玉企画調整官、岡村係長、和田専門職
情報システム室 守屋専門職

東京電力ホールディングス株式会社 原子力運営管理部

防災安全グループマネージャー

中部電力株式会社 原子力部防災・核物質防護グループ 副長

原子力エネルギー協議会 副長

(以下、テレビ会議システムによる出席)

東北電力株式会社 原子力部 課長 他2名

東京電力ホールディングス株式会社 原子力運営管理部 副長

中部電力株式会社 浜岡原子力発電所 危機管理部 防災課 担当

北陸電力株式会社 原子力部 原子力防災チーム 担当

中国電力株式会社 電源事業本部 原子力運営グループ 副長他1名

日本原子力発電株式会社 発電管理室プラント管理グループ 課長 他1名

5. 要 旨

原子力エネルギー協議会から、前回の面談（令和元年12月23日）を踏まえ、沸騰水型軽水炉（BWR）の緊急時対策支援システム（以下「ERSS」という。）への伝送項目について、資料1～4に基づき以下の説明があった。

- ・新規制基準適合したBWRのERSS伝送項目の標準案を作成
- ・電源系統の画面について、先行する加圧水型軽水炉（PWR）の画面を参考にBWRの特徴を踏まえ、いくつかの検討案を作成

原子力規制庁から、先行しているPWRと同等の情報が確認できるようにERSS画面や伝送項目を統一することが望ましい。電源系統の画面については、号機間の電源融通を考慮しない案が適当と伝えた。また、今回のERSS伝送項目の標準案について確認し、後日回答すると伝えた。

6. その他

配布資料：資料1 ERSSに追加伝送する項目（新規制基準適合炉のBWR標

- 準（案））の考え方について
- 資料 2 ERSS追加伝送パラメータBWR標準案（新規制基準適合炉）
- 資料 3 ERSS「ユニット情報」画面（新規制基準適合炉のBWR標準（案））について
- 資料 4 ERSS「ユニット情報」画面（新規制基準適合炉のBWR標準（案））について（資料3補足説明資料）